

海老名市立今泉中学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第2回)

1 日時 令和4年 11月7日(月) 10時～12時

2 場所 今泉中学校 図書室

3 出席委員 今井大輔会長 鈴木幹司副会長
栗山明郎委員 樋口るり子委員 碓井雅巳委員 宮下良雄委員
平井千恵子委員 石田佳奈委員 木村信一郎委員 麻生伊都子委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶 (学校長欠席のため、教頭が挨拶)

木村教頭：本校のコロナ感染の状況と対策について。

運動部の秋季大会における部活躍の活躍を報告。

吹奏楽部と合唱部が夏のコンクール等において活躍した報告。

合唱祭と体育祭が無事に行われたことの報告。

～質問・意見なし～

(2) 授業参観

全委員が全校の授業の様子を見学した

(3) 合唱祭開催の報告とDVD視聴

木村教頭：コロナ禍での開催について、対策をとった点の報告。

間隔を取って、マスクをつけたまま歌ったことや、前列5列を空けて座り、保護者の観覧はなしにしたことを説明。学年合唱は実施できなかったので、卒業式に向けて、3年生は工夫をして練習を進めていく計画を立てていることなどを説明。

～質問・意見なし～

(4) 学校の現状

本日のテーマ 「これからの生徒支援について」

木村教頭より学校の現状説明

麻生委員より不登校生徒に対する支援チームでの対応例の説明

(5) 意見交換

栗山委員：近隣の市と比べて海老名市の不登校生徒の割合は多いのか少ないのか、海老名市のデータが知りたい。

コロナ禍で増えてきたように思える。

鈴木副会長：不登校生徒の登校できない理由も多様化してきているので、受け入れる側（高等学校や専門学校など）も間口を広げて、選べるようになっていけると良いと思う。また、先が見えなくて不安になってしまう方達のためにも、過去に不登校だった経験者に体験談などを話してもらうのもよいことではないか。

樋口委員：不登校といっても千差万別である。孤立してしまいがちな世の中なので、もっと隣の人のことを気にする世の中になってほしい。人との関わりはとても大切である。

麻生委員：登校できない友達に対して声をかけたりLINEをして声掛けを行ってくれる生徒もいる。

鈴木副会長：デジタルは人の熱意が伝わりにくいし、判断に迷う。

栗山委員：コミセンの1室を使ったりして何かできないだろうか。

石田委員：不登校になるきっかけは些細な事の場合もあり、乗り越えるきっかけも些細な事の場合もある。中学生の心は不安定であるので、親や先生たちは気にかけているよということが伝われば安心するのでは。

宮下委員：どうしても先のことが心配になるので、進路先はいろいろあるということの説明をあげたい。

平井委員：先が見えるようなアドバイスを母にしてあげることが必要。

今井会長：環境が変わってホッとすることもある。本人の思いと、周りの子どもなどの気持ちのギャップをなくすようなアプローチができるとよいのでは。

議事終了

(6) その他

次回の、学校運営協議会は、令和5年3月13日（月）10時から開催予定。